

2008年4月30日

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2008年4月15日】

団体名 NPO 法人 東久留米の水と景観を守る会

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するための活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

柳窪旧集落の保全活用推進～活着している野外博物館を目指して～

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

江戸、明治の面影を強く残している柳窪旧集落は、東京都心に近いことを考え併せるとかけがえのない魅力と価値があり、武蔵野の宝、現代の奇跡と言われるほどです。何よりも生活が営まれており、民家園などと違った「活着している野外博物館」と呼ぶことができる存在です。しかし一旦世代交代・相続が発生すると、あっという間に建て売り住宅群ができ価値が急減することが目に見えています。市には財政的ゆとりがなく動きが取れません。少しでも早めに手を打たないと手遅れになります。公的支援に結びつけるため、主要建物実測図、敷地内建物群配置図の作成などの基礎資料をそろえることを目的とします。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

2007年度は

- ①未実測の明治・大正・昭和初期の民家主屋、はなれ、蚕室など4棟の調査、実測図作成。
  - ②以前実測済みの江戸明治の主屋4棟とあわせ、付属小屋群を含む屋敷内建物配置の調査、実測図作成。
  - ③調査結果の報告。
- を行いました。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

対象候補の民家には、プライバシーの保護、防犯対策などの理由から、調査そのものを受け付けられない家があり、これまでの実績を基に社会的な意義を説明し、調査に対する警戒心をほぐして協力を得るための努力を重ねました。その結果、調査を受け入れる家も出て上記の調査が実現しました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

伝統的な造りの民家・付属小屋が元々の配置のまま集中して現存している柳窪旧集落を、客観的な実測に基づいて評価する手がかりができてつつあります。2007年度にできなかった付属小屋調査も含め、引き続き2008年度も建物調査・配置実測を行って柳窪旧集落の優れた景観・価値を評価する基礎資料としてまとめたいと思います。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



伝統的民家の実測配置図作成のための調査



伝統的民家の配置図作成のための実測